

	1. 第1回web会議以降のコロナ禍での対応や診療状況（連携で困っていることも含め）	2. コロナ禍で研修ができにくいためどのようにしているか	3. ネットワークシステムの進捗状況
愛媛大学医学部附属病院	院外関係者の来院が制限されているため、退院前のカンファレンス件数が減少している。直接情報をやり取りできないため、患者の状態について詳細を伝えられないこともある。今後WEBで開催する動きがあれば不足する情報を補える可能性もあるが、一方で個人情報を取り扱うことになるため、セキュリティーが担保されるかが課題になる。	WEB研修だけではなく、ハイブリッド会議での開催を行っている。	(10月29日時点) 延べアクセス件数約19,000回（2019年4月～2020年9月） 延べ同意件数347件 参加機関35か所（東予8か所、中予24か所、南予3か所） そのうち2か所が調剤薬局
愛媛県立中央病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月18日から再度面会禁止となり、現在も継続中。ご家族のみ1日1名15分以内で事前申請し主治医許可ある方のみ。</li> <li>・外来診療、入院受入は通常通り。</li> <li>・外来受診者にはマスクの着用と体温・身体状況、県外滞在歴の確認問診表あり。</li> <li>・9月1日から正面玄関の開扉時間を7時から7時30分に変更した。</li> <li>・当院から他院への訪問等も自粛している。</li> <li>・7マナーの訪問も制限あり、電話か書面上での対応になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数制限をかけながら、医療連携懇話会は8月より再開している。</li> <li>・院内研修等も人数制限をかけて実施している。</li> <li>・研修内容によっては動画撮影をして院内LANで共有したり、ナーシングスキルの活用を行っている。</li> <li>・院外とはほぼWeb研修となっている。</li> <li>・研修により使うシステムが違うので使いこなせず参加を見送る場合がある。</li> </ul>	・当院では実施していません。
済生会今治病院	8月末までは病院出入り口を正面玄関の1カ所のみにして、検温を実施し、発熱患者のトリアージを行い、疑いのある該当者は、病院の外（自家用車など）で待機してもらい、病院敷地内に設置してあるテントで診療を行っていた。9月からは、今治市内の感染状況を考えて、病院出入り口はオープンにして、発熱患者のトリアージは総合受付で行い、疑いのある該当者は、テントで診療するようにしている。 連携室では、前回の会議の時と同じく、事前にFAX紹介患者には、感染項目に該当しないか確認し調整を行っている。また、2週間以上先に予約した患者には、受診の一週間前に、連携室より患者に体調に異常がないか等の確認の連絡を取っている。	Web研修の受講は増えてきているが、当院主催の研修は実施できていない。	特に変わりなし
四国がんセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面会制限から面会禁止に変更。1名15分以内の家族のみの面会。緩和ケア病棟はリモート面会を実施</li> <li>・外来診療は、受付で体温測定を行い発熱患者のトリアージを行ってから診療する</li> <li>・手術患者の入院受入れは、手術5日前から入院しCT撮影を行っている</li> <li>・診療所と退院前カンファレンスのweb会議を1回開催した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内研修は人数制限、時間の短縮を図り実施している。eラーニングを活用した研修も多く取り入れている。</li> <li>・院外研修は、会議研修等は参加者が100人以内かつ収容定員の半分以上なら開催可能となっているが、Webによるオンライン研修を活用が多い。</li> </ul>	連携医療機関数：7施設 利用患者：18件
松山赤十字病院	再診の患者に限って電話での処方受付をずっと行っている。数は減ってきたが、現在もまだ対応をしている。いつまで対応すべきなのか。また、患者のなかには、電話で処方を受けられるため診察に来ない者もいる。診療科によっては患者に通院を促しており、各診療科で少しずつ対応が異なっている。連休後は、Go To トラベルの影響を考慮して、初診受付の職員はフェイスシールドを着用して対応を行った。患者は、コロナ関連問診票の記載には慣れてきた様子が見られる。	WEBでの研修に参加している。当室主催での研修は行っていない。	(2020/9/30現在) 連携医療機関数 26施設 登録患者数 1,224人

<p>住友別子病院</p>	<p>①来院患者の健康チェック 正面玄関で体温測定、風邪症状等の有無の聴取およびマスクの着用を呼び掛けている。体温の測定やマスク着用に理解の得られない患者の対応や解熱剤を服用している患者が、玄関では発熱の申し出をせず、診察室で発熱を訴えるなど、対応に苦慮している。</p> <p>②全身麻酔前の呼吸機能検査 5/1～10/18まで、周囲への汚染飛沫、エアロゾルの拡散を生じ感染拡大を来す可能性が懸念されるため中止としていた。ただし、次の場合は呼吸機能検査に代えて、指定の検査を行った。・整形外科（60歳以上）、外科、泌尿器科、脳神経外科⇒動脈血ガス分析・腹腔鏡下手術⇒胸部CT</p> <p>③新型コロナウイルス感染症が強く疑われる患者の対応 東予地域では、新型コロナウイルスに感染した患者は、A病院が診療することになっている。感染拡大地域への移動歴がある発熱患者で、スクリーニング検査の結果、新型コロナウイルス感染症を強く疑う肺炎の所見が認められても、PCR検査で陽性が確認されない限り、転院に応じてもらえず、対応に苦慮している。</p> <p>④面会 面会は原則禁止とし、洗濯物など荷物の受け渡しは病院スタッフが対応していた。現在、荷物の受け渡しについてのみ、1名限定で短時間の入室を許可している。また、9月からは一部の患者を対象に、リモート面会も開始している。</p>	<p>一時期、委員会活動などを含む院内で開催される会議については、中止または延期としていたが、少人数かつソーシャルディスタンスを保つなど感染対策がしっかりとられていれば、現在は開催可能としている。</p> <p>多人数が集まる外部講師による院内研修会等は、Webによるオンライン研修を活用している。</p>	<p>愛媛県下での同意書書式および運用の統一（前回より、進展なし）</p>
<p>四国中央病院</p>	<p>・現在、入院患者は面会禁止を継続中（但し、医師が特別に許可した方のみ面会可能） 玄関入口で入院患者の荷物受け渡し受付を設置して対応している。玄関先に職員2名を配置し、全ての来院者に体温測定及び手指消毒をお願いしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来及び入院診療は、制限なく通常どおり実施している。</li> <li>・MRの来院は人数制限している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数の院内研修は、密を避けながら通常どおり実施しているが、全職員対象の研修は、院内LANによるスライド等を利用した研修としている。</li> <li>・院外研修は、感染多発地域で開催されるものについては、制限している。</li> <li>・院内でのMRによる勉強会は禁止している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進展はありません。</li> </ul>
<p>十全総合病院</p>	<p>・院内（建物内）への入場については、時間内：正面玄関のみ。時間外：夜間・救急外来入口のみに制限</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーモグラフィー（カメラが顔を認識し体温をモニターに表示）を各入口に設置し、全入館者（職員は除く）検温実施</li> <li>・検温で発熱確認された人・風邪症状のある人（自己申告）は、風邪症状相談窓口にて問診を実施し特に問題がなければ外来にて診察</li> </ul> <p>※付き添い・見舞い等で発熱等が確認された者は原則入館不許可</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お見舞い、付き添いについては、病棟・医師が特別に許可した者に対し首から許可証を下げてもらい30分以内の入館を認めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染地域・準感染地域で行われる研修は不可</li> <li>・院内の研修においても原則はウェブ開催とする</li> <li>・対面開催が必要なものについては3密対策・換気実施・人数制限・時間制限のうえで実施許可</li> </ul>	<p>ネットワーク接続希望のあった近隣の3クリニックにおいて、当院で撮影した写真及び画像所見の閲覧ができるようにしている</p>
<p>済生会西条病院</p>	<p>コロナの状況により変更はありますが、連携室としては、原則、県外からの受け入れは、西条市（愛媛県）に来てから2週間経過してから受け入れしている。緊急の場合は、状況により各診療科などへ相談し対応を検討している。</p> <p>大体の医療機関が、事前に問い合わせいただき対応してもらっているが、ごくたまに、県外から紹介状を持って来院されることがあり、各診療科へ相談し、窓口での確認事項が増えることがある。</p>	<p>院内での研修は、必要を検討しながら行うこととなっている。</p> <p>ビデオ配信で各自で見、アンケートなどに回答したりしている。</p>	<p>特に進展はありません</p>

HITO病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月23日から再度面会禁止となり、10月19日より制限つきで解禁。面会時間は15：00～17：00（土日祝日は対応困難な為面会不可）。患者1名に対し15分以内 面会者は総合案内で面会等申請書を記入し病棟へ提出。同時に入室できる面会者の人数は1名に対して2名まで。4人部屋で同時に面会ができるのは患者2名まで。面会者はマスクを持参し着用。体調不良者の面会は不可。</li> <li>・外来診療、入院受入は通常通り。</li> <li>・発熱ありの患者については受診前の電話や正面玄関でトリアージを行い、通常の受診動線と別に対応を行っている。</li> <li>・外来受診者にはマスクの着用と体温・身体状況、県外滞在歴の確認問診表あり。</li> <li>・curon、zoomを利用したオンライン診察を開始している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内研修はWebex Meet、zoom、動画配信等を利用し行っている。</li> <li>・院外に関してはほぼWeb研修となっている。</li> </ul>	特に進捗はありません
市立八幡浜総合病院	感染症指定医療機関であり、これからのインフル・Covidの地域対応に色々と考えていなければならないのだけれど、まだ県からの詳細が出揃わない。がん関連では、終末期に入院ではなく、在宅看取りを希望される方が確実に多くなっている（家族面会ができないので）そのための多職種カンファレンスの回数も増えた	Web会議が定着した 八幡浜在宅緩和ケア症例検討会も Webで毎月継続中（今月75回） ベテルの先生・スタッフの方も、わざわざお越しただかなくてもいいので、却って便利かも	今年電子カルテの入れ替えがあり、来年度の県補助予算で地域連携サーバーが入る予定 電子カルテの更新があり、予定より一年遅れ
市立宇和島病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月19日から面会制限、7月20日から面会禁止、現在も継続中（医師が許可した方のみ）。</li> <li>・流行10万対2.5以上の地域を感染拡大地域として注意している。</li> <li>・7月1日から来院時全員の来院時調査（検温・マスク・手洗い指導）中止し、全員の来院時調査票記入体制としている。</li> <li>・外来診察、入院受け入れは通常通り。</li> <li>・人間ドック、脳ドック、健康診断は7月1日から再開。人間ドックは通院のみ。</li> <li>・リモート面会を行っている病棟もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当院主催で院外から参加者のある集合研修（医療従事者研修、市民公開講座等）は開催していない。</li> <li>・院外研修はWebでの参加が多い。</li> <li>・院内研修は密に気をつけながら少人数での開催若しくは、Eラーニングを利用している。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 連携医療機関数 利用者数等の実績（令和2年11月1日現在） <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携医療機関数86件（うち5件はwindows7のため休止中）（構築時22件）</li> <li>・利用者数 17,137人（構築時185人）</li> </ul> </li> <li>2) 稼働状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・同意取得数：（平均取得数300件/月）令和2年2月頃よりコロナ問題により同意取得数が200代まで減少したが、6月より盛り返し300代へと戻った。</li> <li>・アクセス件数：昨年度と大差なく1,600件から2,200程度で推移。安定し利用してもらっている。</li> </ul> </li> <li>3) 啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6件訪問：コロナ化ではあるが今年度目標としている啓発活動を積極的に実施している。</li> </ul> </li> <li>4) 加入状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・正式加入：1件（以前より加入打診していた医療機関）</li> <li>・加入申込みがあったが設定保留中：4件（※以前より加入打診していた医療機関1件、開業した当院OB医療機関2件より加入申し込みあり。当院が今年度11月末にカルテ更新を予定しており、対応ができず12月初旬に設定予定）</li> </ul> </li> </ol>
済生会松山病院	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 以前、他院からの紹介患者さんに関しては37.5℃以上の発熱があれば、一度保健所へ連絡していただくように案内をしていた。しかし、紹介元の先生からすれば「そこまでする必要があるのか」と疑問に思われる先生方もおられる。各医療機関様で保健所に連絡を入れる基準も様々。</li> <li>2) コロナの感染状況も日に日に変化するため、それに対する病院としての方針も変わり職員間での周知に時間がかかる。</li> <li>3) 面会制限・禁止に対する本人・家族の理解</li> </ol>	研修が「できにくい」という印象はない。情報共有の促進・移動時間・交通費のコスト削減を目的に済生会本部がZoomのweb会議システムを契約。ホストとしての活用が可能に。各部署Zoomを用いて問題なく実施。	参入予定なし
松山市民病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面会は、15時から16時まで 3人から1名に変更した。1時間の間に150人位の面会者がいるため密になっていると感じている。</li> <li>・11/18からテント設置して発熱外来を運用</li> </ul>	院内web研修	vpmソフトを使用していたが、医師会のサーバーからも繋がるようになり動画も見れるようになった（35施設）